とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	R8年3月12日
クラス名（年齢）	たんぽぽ　組（　　2　歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

春の自然に触れてみよう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・園周辺や散歩などで花が咲いているのを見つけたり「ピンク色の花が綺麗」（椿の花）など発見したことを話し、春の自然に興味を持っている姿があった。

2、活動スケジュール

・園庭で春の草花を探して摘んだり集めて楽しむ

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・少人数ごとに園庭を探検しながら春の草花を見つける

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・園庭に咲いている椿やオオイヌノフグリなどの草花
を摘んだり匂いを嗅いだり触れて楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・花を一つひとつ手先で上手に摘みながら、潰さないように気をつけて持つ。 ・花を手のひらにたくさん集めながら「赤ちゃんで小さいから優しくしないと」とつぶやきながら集める。 ・たくさん集めた花の匂いを嗅ぎながら「何にも匂いしないよ」隣にいた友達に知らせる。 ・立ってみると一面同じ花が咲いていることに気づいて指をさしながら「たくさんある！」と喜ぶ。 ・その声を聞いてしゃがんでいる子どもも顔をあげて周りを見渡し「いっぱいあるよ」と保育者に話す。 ・摘んだ花を潰さないように茎のところを持ち、花が採れたことを嬉しそうに知らせる。 ・オオイヌノフグリを見つけ「この花は青いよ」「なんでだろうね？」と言いながら見せ、小さな花を指先で丁寧に摘んでいた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・冬にはなかった花が暖かくなってくると園庭にたくさん花が咲いていることに興味を示し、子どもたちも春の訪れを感じていた。小さな花だったが、潰さないように手先を使って上手に摘んでいる姿があり綺麗だからそのまま花の形を残したいという子どもの思いがあったのではないかと思った。花の色にも注目して見ている子どももいて、花にもいろいろな色があることを四季の花に触れながら興味を持てるようにしていきたいと思った。